

京都市立開建高等学校グランドデザイン

開建高校で育成を目指す6つの資質・能力



開建高校
Kaiken High School

開建高校の学びは、“Learning by Doing”
見て、聞いて、感じて発見・実感を得る学び
好きなこと、得意なことをとことん伸ばし、自分らしさを追求しよう！

「やってみたいをやってみる」ことで、自分の可能性や良さを知り、
それらを活かしてより良い未来を協創しよう！

「学びを楽しむ」しかけ

～学んでいること、考えていることが楽しい～

○学びの3原則

問いから始まる学び
対話・協働の学び
個に応じた学び

○教育活動の3本の柱

自分自身について知る
個性を活かして協働し、挑戦する
自由な発想で、未来を創る

「自己の成長を実感する」しかけ

～わかった！できた！が開建で増えた！～
開建は「できない」ことに挑戦し、「できる」ようになることで、自分の人生を豊かにし、社会そのものが豊かになるため存在しています。自分が「できない」ことを理解し、それを目標に設定した主体的な学びを実践します。

開建高校が求める人物

多様な人たちと関わり学びを深めたい
知識やスキルを身につけ、他者と協創したい
より良い未来を創っていききたい

開建高校が目指す人物

自らの成長とともに他者と協働しながら、より良い未来社会の創造に主体的に取り組むことができる人物（協創者）を目指します。

「学びの空間と人」のしかけ

～教室はL-pod、クラスメイトは80人!?～
普通教室の4倍の大きさがあるL-podを学びの空間にして、80人の生徒と複数の教員が様々な形態での学びを通して成長します。

開建高校の教職員は、自らを変え、
未来の社会を形成していく協創者を目指
す生徒たちのガイドとして、ともに
学び、ともに考え、ともに歩みます。

「地域・社会で学ぶ」しかけ

～京都全体が開建生の学びのフィールド～
教室から飛び出し、複雑かつ多様でリアルな地域社会で、自らの行動に責任を持ち、より良い未来を目指して、自分たちのプロジェクトを進めることで、確かな自信をもって行動に移す姿勢を身につけます。

